

アシナガバチを狙うハンター ヒメスズメバチ



10月1日、生物準備室でくつろいでいると内線電話が鳴った。社会科準備室にスズメバチが入り込んでしまったから何とかしてほしいという要件の電話だった。実はこの数日前にもスズメバチの目撃情報があり、ここ最近、校舎内でスズメバチの発見が相次いでいる。

生物室に常備してある捕虫網を手にとり、すぐさま現場に向かうと、確かに準備室の天井には体長3.5cmほどのスズメバチが止まっていた。捕獲してよく見てみると、**ヒメスズメバチ**だった。**腹部末端が黒い**ことが同定のポイントだ。ヒメスズメバチはスズメバチの中では**比較的穏やかな性格**で、こちらから手を出したりしなければ向こうから襲ってくることはまずない。毒性も他のスズメバチと比べると低いことが知られている。とはいえ、ここは学校である。想像の斜め上の行動をしていつも我々教員を困ら...楽しませてくれる生徒諸君がいる。気持ちは分かるが、どんなにスズメバチが格好良くて魅力的だとしても**絶対に捕まえようとしたりしてはいけない**。ハチを見つけてもそっとしておき、すぐに大人に報告しよう。

学校の近くに巣があるのかもしれないが、まだ見つかっていない。この時期はスズメバチの餌となる昆虫が少なくなるので、餌を求めて遠くから飛んできたところを、校舎内に迷い込んでしまったのかもしれない。ところで、スズメバチが狙う獲物といえば、イモムシやミツバチをイメージするかもしれない。(ミツバチがオオスズメバチから巣を守るために集団で立ち上がり蜂球をつくることは有名だ。)しかし、このヒメスズメバチは**アシナガバチを専門に狙う**ことが知られている。アシナガバチの巣を襲い、幼虫や蛹をさらって肉団子にしまうのだ。一般人からしてみれば、スズメバチもアシナガバチも、どちらも「怖いハチ」として一括りにされそうだけど、実は食う食われる関係にあるとは、ハチの世界も奥が深い。



スズメバチの仲間は、冬季まで生き残れるのは女王だけなので、寒くなれば姿を見ることもなくなるだろう。スズメバチは危険な生物であり、一般人からは恐れられる存在だが、そのフォルムやカラーリングは実に格好良い姿をしていて、個人的には好きな昆虫だ。毒さえなければもっと人気の出る生物だっただろう。

じっくり観察したくても近づけなくてもどかしい思いをしているみなさんのために、白バック撮影を試みたので写真を通してまじまじと観察してみてください。

←校内で捕獲したヒメスズメバチのワーカーの白バック写真。腹部末端が黒いことで他のスズメバチと区別できる。攻撃性や毒性は他のスズメバチよりも低い。